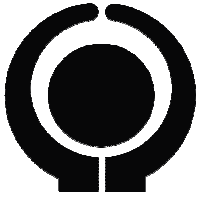


まちから村からの連帯で
ひとりぼっちの高齢者をなくそう



憲法いかし だれもが安心できる国づくりへ

おいでなして

～第27回日本高齢者大会in三重～

大会速報

第3号

2013・9・13

第27回日本高齢者大会

中央・三重県実行委員会



歓迎の合唱＝三重県総合文化センター大ホール、9月13日

みんなで頑張らないとあかんわなあ 2日間延べ5265人参加

大会2日目の全体会は13日午前中、三重県総合文化センターで。この2日間、全46都道府県と各団体などから延べ5265人が参加しました。オープニングは、「みえのうたごえ」と全国の「シルバー合唱団」が、歓迎のうたごえ。開会宣言に続き、歓迎あいさつを三輪憲司・三

重県実行委員会委員長と主催者あいさつを安形義弘・中央実行委員会委員長が。そして、来賓とメッセージ（紙面下段）が歓迎と連帯を表明。津市市長からあいさつ（代読）も寄せられました。ついで、会場を埋める参加者交流で、7ブロッ

「ご来賓」
☆津市市長 前葉 泰幸様代理
津市健康福祉部長 石川 博行様
☆全国医療労働組合連合会 幹事 樽松 佐一様
☆中央社会保障推進協議会 事務局長 山口 一秀様
☆日本共産党衆議院議員 佐々木憲章様
【メッセージ】（12日まで）
☆鈴鹿市長 末松 則子様

おり」を手にする人も。今回、三重県からの参加者は、ほとんどの方が、別の中ホールの「中継映像」で参加です。この後、鐘ヶ江中央事務局長が基調報告。そして、記念講演を板垣淑子さん（略歴）「参

加のしおり」が、「人は、元気なうちは『社会の担い手』の誇りを感じて生きていくが、その誇りと喜びを感じながら老後を過ごせるように」と呼びかけました。続いて「大会カンパ」の訴え。3地域からの報告（別記）は、福島、沖繩、山形。山形は次々回開催地です。文化行事は、三重大学の女子学生のみで構成さ

「福島をわすれないでひとりぼっちなくす」
① 福島を訪れば、権力者の姿を見る事になる
② 浪江町立請戸小（100人）が1人も犠牲者を出さなかつたのは、学校・町に津波対策があったから
③ 高齢者（期）運動の今後は、憲法・社会福祉改革反対を国民的大運動にして「ひとりぼっちをつ

「基地沖繩から日米安保は必要か」
① 4・28 「屈辱の日」
6・23 「慰霊の日」の知事と総理のあいさつ
③ オスプレイの追加配備
④ 普天間移設の破綻
⑤ 「ベトナム村」から「標的の

「地域の報告 福島・沖繩・山形」
「介護悲劇根絶の県民運動を」
山形県は3世代同居率が日本一、高齢化率は全

「介護悲劇」が後を絶たない。県社保協が「介護悲劇の根絶」運動を続けた結果、3月の第1回山形県高齢者大会にメッセージを寄せた吉村県知事が、私たちの提唱を受け入れ、大会以降、県内の悲報は無い。悲劇根絶の先頭に立ちがらばる。

大会ご来賓とメッセージ ありがとうございます

- ☆志摩市長 大口 秀和様
- ☆第59回日本母親大会 実行委員会様
- ☆日本共産党参議院議員 井上 哲士様
- 吉良よし子様
- 倉林 明子様
- 大門美紀史様
- たつみ コーロー様
- ☆日本共産党衆議院議員 赤嶺 政賢様

【註】各政党に案内状を差し上げています。たくさんのご後援とご協力に感謝します。政党のみならずへは、国会でのご奮闘を。（本部事務局）



にぎわう朝市物産展

大会参加者数

9月13日現在

☆=目標達成・超過達成



「第7講座」伊波先生

| 地 | 域 | 2日間延べ数 |
|---|---|--------|
| 北 | 海 | 2 |
| 青 | 森 | 22 |
| 岩 | 手 | 6 |
| 宮 | 城 | 16 |
| 秋 | 田 | 8 |
| 山 | 形 | 30 |
| 福 | 島 | 30 |
| 茨 | 城 | 46 |
| 栃 | 木 | 6 |
| 群 | 馬 | 52 |
| 埼 | 玉 | 80 |
| 千 | 葉 | 106 |
| 東 | 京 | 354 |
| 神 | 川 | 172 |
| 新 | 潟 | 80 |
| 長 | 野 | ☆100 |
| 山 | 梨 | ☆60 |
| 富 | 山 | ☆60 |
| 石 | 川 | 38 |
| 岐 | 阜 | 46 |
| 静 | 岡 | 150 |
| 愛 | 知 | ☆532 |
| 三 | 重 | 1850 |
| 滋 | 賀 | 70 |
| 京 | 都 | 148 |
| 大 | 阪 | ☆396 |
| 兵 | 庫 | 78 |
| 奈 | 良 | 40 |
| 鳥 | 取 | 20 |
| 島 | 根 | 16 |
| 岡 | 山 | 46 |
| 広 | 島 | 44 |
| 徳 | 島 | 64 |
| 香 | 川 | 62 |
| 愛 | 媛 | 80 |
| 高 | 知 | 26 |
| 福 | 岡 | 26 |
| 佐 | 賀 | 6 |
| 長 | 崎 | 2 |
| 熊 | 本 | 6 |
| 大 | 分 | 24 |
| 宮 | 崎 | 26 |
| 鹿 | 島 | 6 |
| 沖 | 縄 | 4 |
| 中 | 央 | 115 |
| 総 | 数 | 5265 |

第7講座
安保条約と日本国憲法
安保条約の現状と闘い

参加者は252人。元宜野湾市市長の生の声を聞きたい、熱い思いで、会場は溢れ返りました。沖繩に基地全体の3分の4が集中。2003年までの普天間基地の返還も、日米合意により、2022年までに延長。しかも、辺野古が出来上がってからの条件付き。

今年8月から24基地制で沖繩に配備されたオスプレイの飛行映像。地上から巻き上がる砂ほこりと雑音。歓声が悲鳴に！

オスプレイ問題を通じて、沖繩問題を日弁憲法と全国の問題として受け止めてほしいという伊波さんの言葉に、沖繩がかかえる苦悩を思った。

国民の意思表示で政治を変えなくては

伊波さんの締めくくりは「政治を変えることは難しいが、国民の意思表示で政治を変えなくては」。 (峯岡 澄)

「高齢社会の到来で担い手の負担が重くなり、社会保障制度は維持できなくなる」という大ウソは、高齢者にも、とてもつらい。断念させる事を強く政府に働きかける必要があるのでは。」 (津・年金者組合 飯田千恵子)

第2講座 庶民増税に頼らない！

定員144人に150人超。息も詰まるよう。目先の景気をよく見せる「アベノミクス」の「うそとまやかしの

第10分科会 「葬式とエンディング」

「第1部 お葬式」葬儀の形は、地域、時



関心高まる葬式とエンディングノート

第8講座 福島原発事故 現状と課題

椅子不足で段ボールを敷く人も。質問も多く、様々な形の葬式が考えられる時代。突然の幕切れをどうするか、関心の深さを示す分科会だった。(小室 祐子)

事故後に「丈夫な赤ちゃんが産めないかもと、結婚がご破算になった」という話は、本当につらい。デモや反対行動への心無い罵声、日本生協協会の「放射能雲の通った地域に居た人は、極力、結婚しないほうが良い」などの発言も、同じ日本人

「第2部 エンディングノート」

本籍地の確認、遺影の準備、公正証書の遺言、終末医療など、記録すること、よりよい「別れの場」をつくり出すことができる。

今大会も、46都道府県から、2日間で5000人超の参加者になりました。参加目標達成が、前大会の四国の香川と愛媛、長野・山梨・愛知・大阪・次回開催の富山の達成が心強いです。特に富山県は昨年、

今年46都道府県参加課題増の中で活動多彩に名称変更しているし、三重県も、09年12月「三重県高齢者大会実行委員会」から「三重県高齢者大会実行委員会」から「三重県高

「おいでなして」は本部分と三重県実行委員会の編集スタッフ数人と取材団10数人で作りしました。深謝します。(本部事務局)

「おいでなして」は本部と三重県実行委員会の編集スタッフ数人と取材団10数人で作りました。深謝します。(本部事務局)



第28回大会は「富山」
9月11、12日を予定

第28回大会は、北陸地方(新潟・富山・石川・福井)では、第5回(石川)、第22回(新潟)に続く初の「富山」です。

9月11日、12日、富山大学(講座と分科会)とオーバードホール(2日目の全体会)が会場。高齢者大会では、東海ブロックが対応し、第28回大会第1回準備会が7月23日に富山市内で、6団体・17人が参加。

「立山連峰の大パノラマがお出迎え」パノラマキトキト富山に來られたし」と、PRチラシも手早い。加えて、郵便切手・旅の風景シリーズにも「富山」が選ばれ、4月16日に発行されている。(企画部)

話を中身は「こうした心無い発言をする人も含めて、共同することが絶対に必要。『オール富山』を

「おいでなして」は本部と三重県実行委員会の編集スタッフ数人と取材団10数人で作りました。深謝します。(本部事務局)